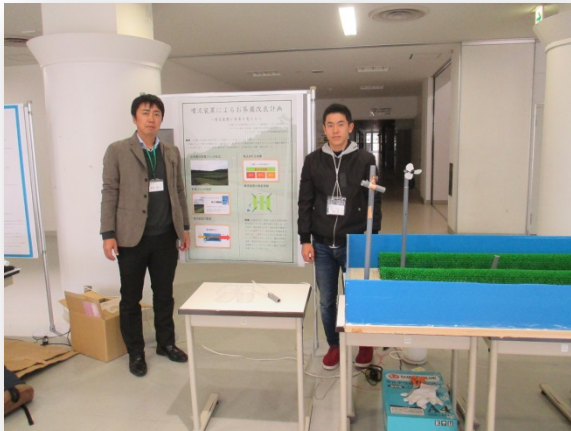


第16回「学生ものづくり・アイデア展in新潟」において「噴流装置によるお茶園改良計画」チームが銀賞を、「しぶとく強い大戦コマの開発」チームが特別賞を受賞しました。



【銀賞】噴流装置によるお茶園改良計画



【特別賞】しぶとく強い大戦コマの開発

平成30年12月1日に新潟大学において第16回「学生ものづくり・アイデア展in新潟」が開催されました。この「学生ものづくり・アイデア展」は、新潟大学、富山大学、長崎大学の3大学工学部の学生グループが自主的に製作した作品を発表する場として、平成15年度に開始されました。今年度は、新潟大学より13チーム、富山大学より7チーム、長崎大学より2チームの全22チームが参加して成果を競い合いました。

結果として、長崎大学の「噴流装置によるお茶園改良計画」チーム(担当学生: 檜林龍太さん、原田怜さん、アドバイザー: 社会環境デザイン工学コース 鈴木誠二准教授、課題提供企業: EDS環境機器開発研究所)が銀賞を受賞しました。お茶園の霜害対策として利用している防霜ファンにかかるコストや騒音の課題を解決するため、新たに噴流装置を開発しました。これによりコストは半分以下、騒音も大きく軽減でき、さらには少ない動力で多量の空気を吐出するため、非常に高い防霜効果を発揮できるようになりました。

また、長崎大学の「しぶとく強い大戦コマの開発」チーム(担当学生: 坂口貴琉さん、佐藤滉隼さん、中園貴大さん、アドバイザー: 機械工学コース 扇谷保彦准教授、課題提供機関: 工学教育支援センター 創造工房)は、特別賞を受賞しました。回転に安定性があり、他のコマとぶつかったときに当たり負けせず、長い時間回り続けることができる大戦コマの開発に取り組みました。

全チームが作品についてプレゼンテーションとポスターセッションを行い、作品の理解を深めてもらうよう展示スペースに訪れた多くの参加者とディスカッションをしました。また、新潟大学、富山大学との交流もでき、大変有意義な場となりました。